

資料 2 : 聖籠地場物産(株)の今後の方針検討に関する考え方

1 検討の考え方

6月から7月にかけて実施したアンケートの結果及びこれまでの委員会に置ける検討を踏まえ、今後の方針に関する議論の方向性（案）を検討しました。

次に掲げる各検討項目などについて、具体的なパターンを検討し、今後の方針検討を進めていくことが考えられます。

2 検討項目

(1) ハードについて

① 建物

老朽化が著しく、未利用スペースも多くなっている建物について、営業を続けるに当たっての建物に関する今後の方針を検討してはどうか。

② 場所

建物に関する検討とともに、立地する場所や駐車場についても検討してはどうか。

③ 機能

現在、直売所の他、テナントや飲食スペースなど、いくつかの事業を行っている店舗について、どのような機能を残していくべきか検討してはどうか。

(2) ソフトについて

① 事業の選択

現在、聖籠地場物産(株)として行っている各種事業について、収支の見込めないもの、町の助成金を受けているものなど、様々な問題を抱えています。

それらについて、どの事業を選択し、どのように改善するべきか検討してはどうか。

② 販路

学校給食共同調理場や農産物加工センター、ほ場整備に伴う園芸作物導入など、農産物の需要と供給を勘案しながら、新たな販路の可能性について検討してはどうか。